

### 子どもの本だな 104

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

#### へびのクリクター

トミー・ウンゲラー 作  
中野 完二 訳 (文化出版局)

ボド夫人に、息子から誕生日プレゼントが届きました。箱を開けたとたん、ボドさんは金切声をあげました。へびが1匹入っていたのです。そのへびは、ポア・コンストラクターという、毒のない大蛇の仲間でした。ボドさんはクリクターと名前をつけて、子どものようにかわいがりました。ミルクを飲ませ、買い物にも連れていきました。クリクターはよく食べ、体はだんだん長く、強くなりました。

ある晩、ボドさんの家に泥棒がおいりました。物音を聞いてクリクターが起きてみると、椅子には、さるぐつわをかまされたボドさんが。クリクターは、すごい勢いで泥棒に飛びかかり、ぐるぐる巻きにしました…。

勇ましいはたらきによって町の人たちから尊敬され、愛されたクリクターが、長く幸せに暮らす結末に満足します。ペンの細い線と淡い緑、オレンジで描かれた絵は、クリクターの動きを生き生きと伝え、お話の雰囲気ぴったりです。読んでもらえば4歳くらいから。(盛岡)

#### 小公子

フランシス・ホジソン・バーネット作 脇 明子 訳 (岩波書店)

幼い頃に父親を亡くし、母親と2人、アメリカで質素に暮らしてきたセドリックは、7歳の時、思いがけない知らせを受け取りました。イギリスに住む老伯爵の、莫大な財産を受け継ぐただひとりの孫だということです。イギリスに渡る前、祖父からの伝言で「何でも好きなものに使えばよい」と弁護士に渡されたお金で、セドリックは困っている友人たちを助け、仲良しの食料品屋のホップスさんには、お別れの記念に時計を贈りました。

イギリスのお屋敷に着き、初めて祖父と対面、セドリックの人なつこさと率直な態度、品の良い振る舞いに、アメリカとアメリカ人に激しい反感をもっていた祖父の心もゆるみます。母親から教えられ、人には親切にするものと信じているセドリックは、立ち退きを迫られている借地人を助けるなど、未来の伯爵として周りの信頼を得ていきました。ところが突然、もうひとりの伯爵候補が現れました…。

周囲の誰からも好かれるセドリックと暮らすうち、傲慢で利己主義な祖父が少しずつ変わり、初めて人を愛する気持ちを持つようになります。型にはまった優等生ではなく、元気いっぱい子どもらしく率直なセドリックに好感がもてます。10歳くらいから。(池田)

7月	8月	7・8月の移動図書館 (いずれも木曜日です)				
7日	4日	<b>塚森</b> 地域内 10:30~ 10:50	<b>沖代</b> コミュニティー センター 11:00~ 11:20	<b>福地(三反長)</b> 地域内 14:30~ 14:50	<b>米田</b> 公会堂 15:00~ 15:20	<b>竹広南</b> 公民館 15:30~ 15:50
14日	18日			<b>原池団地</b> 公民館 15:00~ 15:20	<b>山田</b> 掲示板前 15:30~ 15:50	<b>原</b> 太田東地区 農村交流 センター 16:00~16:20
21日	25日	<b>広坂</b> 公民館 10:30~ 10:50	<b>上太田</b> 公民館 11:00~ 11:20		<b>太子 ニュータウン</b> 公民館 15:30~ 15:50	<b>吉福</b> 公民館 16:00~ 16:20

<お知らせ>

#### 講演会「招福と呪い」

日本の伝統玩具が、子どもを守り、福を招くものとなった歴史をお話いただきます。あわせて、琵琶で「耳なし芳一」を語っていただきます。

・講師：**尾崎 織女さん**  
(日本玩具博物館学芸員)  
**大藪 旭晶さん**(琵琶奏者)

・日時：**8月11日(木・祝)**  
14:00~16:00

・場所：丸尾建築あすかホール ミニシアター  
・定員：70名(要申込)  
・申込：太子町立図書館  
※詳しくは、太子町立図書館まで。

『 天使突抜おぼえ帖 てんしつきぬけおぼえちよう 』 通崎 睦美 著

集英社インターナショナル 379頁 2022年4月刊 2,000円 (請求記号)762.1

「天使突抜」は、「エンジェル」を想像し京都にそぐわない気がするが―京都市下京区にある町名。本書にはマリンバ奏者である著者が暮らす「天使突抜」にまつわる日常が綴られる。ご近所さんや教室の生徒のこと、お寺の稽古事から始まった自身と音楽の関わり、家の100年史…。

著者は、母校の敷地内にそれまで気づかなかつた、「三善清行邸跡」の石碑を目にし、友人から聞いた化け物屋敷の話を思い出す。三善清行は平安時代の政治家。三善が荒れた屋敷を購入したころ、物の怪が現れ、「屋敷から出て行ってくださいか」と訴える。しかし三善は、屋敷は正式な手続きを踏んで購入したものと譲らず、物の怪を追い払った。その屋敷跡に建つのが著者の通った小学校だった。また、三善が、北白川周辺の花を御所に献上するよう勧めたことが、京都の町で花を売り歩く白川女の始まりといわれている。20年ほど前には著者の家にも荷車をひいた白川女が、花を届けてくれた。「お花ですー」気づかずにいると、玄関にいつも買う仏花と鉢が置かれており、慌てて白川女の後を追うことがあったという。

平安時代までも手の届くように感じさせてくれるところが京都の面白さと著者は書くが、いまを起点に『今昔物語集』や京都の風物を取り上げ、文章として読み手にその面白さを伝える力は、著者の感性によるのではないか。負けず嫌いで反抗心が強い女の子が、お寺や中学校でのさまざまなたとの出会いを重ね、音楽家を目指していく過程も興味深い。

(竹内)

7月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

8月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

伝統文化 de あすかイチ

2022年8月6日(土)開催

●絵本の時間 14:30～

おはなしの部屋で、2～3歳の子ども向けに絵本を読みます。

●青空リサイクル 10:00～

なくなり次第終了。図書館前の中庭で開催。雨天中止。

他にも丸尾建築あすかホールで上方講談や人形劇など様々な催しがあります。詳しくは図書館まで。

夏休み工作教室～ちぎり絵でうちわを作ろう！～

・日時：7月24日(日)

①10:30～12:00 ②14:30～16:00

・対象：6歳以上(小学3年生以下は保護者同伴)

・定員：各回5組(要申込) ※詳しくは図書館まで。

▶×印は休館日 ※閉館時は返却ポストをご利用ください。(7/20、8/12は祝日の振替、7/29、8/31は館内整理日)  
▶開館時間は10:00～18:00、金曜日は20:00まで開館

地下水

図書館に入って右側に、様々な折り紙や工作が飾られているのをご存じだろうか。これは聖徳太子クイズスタンプラリーの景品のひとつだ。クイズを解いた子どもたちが嬉しそうに持って帰るたび、職員がせっせと作って補充している。私はもっぱら折り紙ばかり折っている。

個人的な話、最近折り紙が小さなマイブームだ。と言っても、簡単なものを時々気分転換に折る程度なのだが。きっかけは、昨年末に利用者Kさんから教えてもらったカミキイさんの折り紙の本(『カミキイの季節のおりがみ』ほか2冊)。それに載っていたリボンが可愛くて試しに折ってみた。児童書だからと侮るなかれ。途中、理解不能になりながらもなんとか解読し折り上げると、想像以上の可愛い仕上がり嬉しくなった。リボン、バラ、やえざくら、あじさいばこ…。折り紙の色や模様で雰囲気が変わるのも楽しい。

折り紙、切り絵、消しゴムはんこ。どれも作っている間は無心になれる、仕上がりになると達成感と満足感がある。ずっと作り続けているわけではないけれど、時々作って図書館に持っていく。喜んでくれるかなと思いがた…。さあ次は何を作ろうか。

(池之上)